

(別紙)

※裏面の申請事業計画書記入例を参考に記入してください。

公益信託しまね女性ファンド申請事業計画書

(※平成29年度事業 前・後)

<p>(フリガナ) 団 体 名</p>	<p>トクテイヒ エイリカツドウホウジン 特定非営利活動法人 ホ ッ ト ・ ス ペ ー ス ニジュウイチ ほっと・すぺーす 2 1</p>	<p>代表者(フリガナ) ストウ ヤ エ コ 周藤 八重子</p> <p style="text-align: right;">印</p>
<p>(フリガナ) 事 業 名</p>	<p>エヌビーオーホウジンホツソク10シユウネンキネンジギョウ NPO法人発足10周年記念事業 ニンジャ サンジョウ ユウバエ コクホウマツエジョウ マキ シンリョク コクホウマツエジョウ マキ 「忍者、参上！夕映えの国宝松江城の巻/新緑の国宝松江城の巻」</p>	
<p>事業の趣旨・目的 ※この事業の意義や必要性、期待される効果等をご記入ください。</p>	<p>平成18年9月から開設した島根県の子どもの電話「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」も常設10年を超え、子どもたちから年間1,000本以上のアクセスがある。この電話の内容から見えた「コミュニケーション力」の低下と「子どもの人権」にも長年取り組み、中でも子どもの本分「あそび」を通しコミュニケーションの力を育てる講座として、平成19年から「忍者、参上！」講座を県内各地で開催している。</p> <p>この「忍者、参上！」は風呂敷1枚で遊ぶ「忍者ごっこ」。しかしその中には、コミュニケーションに必要な想像力を培うこと、子どもとおとな、あるいは子ども同士がワクワクドキドキ感を共有することでお互いへの安心感・信頼感を感じること、おとなには子どもへのあたたかなまなざしを養ってもらうこと、人との関わりのおもしろさを肌で心で感じ、関わり合うということの大切さを感じるなど、学びの要素が満載の講座である。</p> <p>ここ数年、スマホの出現やDSの浸透によるゲームの低年齢化や依存、LINEなどを通してのいじめ問題や犯罪等、人との関わりにおいてより深刻な状況も問題になっている。小学生が近所の子どもの同士群れて遊ぶ姿はあまり見られない現状である中、「肌で触れ合う時間」を意図して提供していくことの重要性を感じている。</p> <p>昨年、松江市立図書館を会場に開館時間の中で開催できたが、その場に居合わせた中・高校生世代がとても温かなまなざしで子どもたちを見ており、私たちは心が熱くなった。この10年の間に参加した子どもは松江市内だけでも500名、もしかしたら参加した子どもたちがこの中にいるのかもしれない、そしてこの温かなまなざしこそが次の「人」を育てる力ではないかと改めて気づかされた。</p> <p>今回、松江市「共創・協働のまちづくり」での出会いからNPO法人化10周年記念事業として「松江城」での開催が実現、県民会館の協力も得られた。県民の誇る国宝を舞台に心に残る時間にしてほしい、そして子どもたちもおとなも関わり合う中でさまざまな気持ちを感じてほしいと思っている。</p> <p>継続こそが力、子どもの心を育む「子育て応援」を続けていきたいと思っている。</p>	

(別紙)

※裏面の申請事業計画書記入例を参考に記入してください。

公益信託しまね女性ファンド申請事業計画書

(※平成29年度事業 前・後)

<p>事業概要</p> <p>※日時、会場、対象者、参加者数、演題、講師名、出演者等、具体的な事業内容をご記入ください。</p> <p>※広報手段をご記入ください。</p> <p>※過去にも同様の事業を実施したことがある場合は、前回との相違点(工夫した点)をご記入ください。</p> <p>★欄が不足する場合はA4用紙(横書き)で追加作成してください。</p>	<p>●あそびを通し、人との関わる力・おもしろさを体感する講座を開催。</p> <p>日時 平成29年5月27日(土) 17:00~19:00 忍者、参上! 夕映えの国宝松江城の巻 平成29年5月28日(日) 10:30~12:30 忍者、参上! 新緑の国宝松江城の巻</p> <p>会場 松江城・島根県民会館展示ホール (雨天の場合は島根県民会館展示ホール・202会議室・203会議室で実施)</p> <p>参加者 小学校1年生~6年生 40名×2回 おとな 20名×2回</p> <p>講師 NPO法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン専任スタッフ3名 清水洋幸さん・平川恭子さん・北崎圭太さん(予定) ※講師プロフィールは別途記載</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none">・おとな参加者のためのワークショップを開始前に実施、趣旨の理解・流れの確認。・子どもたちは県民会館で集合し、導入から子ども3-4名、おとな1-2名でのチームにわかれ「修行」をしたあと、そのあと松江城に場所を移し、チームで「修行」を重ね、最後は子ども対おとなの「新聞チャンバラ修行」で締めくくる予定。修行の証の「巻物」を授かり解散予定。 <p>(前回の図書館での開催の様子を添付、詳しい内容記載)</p> <ul style="list-style-type: none">・交通量の多い、また観光客の多い場所なのでおとな参加者・スタッフは安全にも配慮する。 <p><前回との相違点></p> <ul style="list-style-type: none">・不登校の子どもたち、発達障がいの子どもの子どもたちにも声をかけ、共に講座をと考えている。・おとな参加者、スタッフに中学生・高校生の参加を呼びかけ小学生とふれあう場、小学生も中・高校生とふれあう場の提供にしたい。また裏方としてサポート体験の場としても提供したい。・新聞チャンバラの2回戦目は、観光客にも飛び入り参加してもらう予定である。 <p><広報></p> <ul style="list-style-type: none">・市内小学校を通じ子どもたちにチラシ配布、新聞での掲載依頼予定。・参加の子どもたちの保護者には、別途主旨・目的を記載し配布予定。
<p>当事業の今後の継続性や活動計画</p> <p>※具体的にご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・今後も継続して保育園・幼稚園・学校や行政、公民館や社会福祉協議会さまざまな団体に働きかけていきたい。県内全域を視野にこの事業の効果をPRし、協働で取り組んでいくことで、地域づくりにも寄与していく。

●過去に実施された事業のチラシやパンフレットなど、参考となる資料があれば添付してください。原本ではなく、コピーでも構いません。提出書類は、なるべくA4判に統一してください。